

「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」
第6回テーマ別セミナー「環境分野におけるローカルイニシアティブと国際協力」

プログラム

「環境分野におけるローカルイニシアティブと国際協力」

平成16年7月2日（金）13:00～17:00
北九州国際会議場（2F、国際会議室）

12:00-13:00 受付（2F、国際会議室）

13:00-13:10 挨拶（IGES 北九州事務所長 井村秀文）

13:10-13:20 クリーンな環境のための北九州イニシアティブ：ローカルイニシアティブと国際支援
機関との連携強化について（Dr. M.A. Khan, UNESCAP）

13:20-17:00 パネルディスカッション

13:20-15:40 パネリストからの発表

13:20-13:30 概要説明 IGES 北九州事務所長 井村秀文

13:30-13:50 世界銀行東京事務所広報担当 大森 功一

13:50-14:10 国際協力銀行開発セクター部次長 松澤猛男

14:10-14:30 (独立行政法人) 国際協力機構九州国際センター次長 浅野哲

14:30-14:50 国際連合地域開発センター研究室研究員 清水 健

14:50-15:00 休憩

15:00-15:20 国際連合ハビタット福岡事務所人間居住専門官 佐藤 摩利子

15:20-15:40 国際連合環境計画 技術・産業・経済局 企画官 Dr. Hari Srinivas

15:40-16:20 地方自治体からのコメント

既存の協力システムの拡大・発展

北九州市環境局環境保全部環境国際協力室 室長 溝口 浩

水俣市福祉環境部環境対策課環境企画室 参事 緒方 卓也

既存の協力プロジェクト同士の連携・強化

宇部市環境部環境共生課 課長補佐 笹尾 洋二

横浜市総務局国際室国際課 課長補佐 深田 泰彦

協力のための新たな枠組みづくり

大阪市環境事業局施設部建設課 係長 金子 正利

福岡市環境局施設部施設課 課長 真次 寛

広島市環境局環境政策課環境計画推進担当 課長 高尾 ひとみ

16:20-17:00 オープンディスカッションによる討議及びまとめ

「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」

第6回テーマ別セミナー「環境分野におけるローカルイニシアティブと国際協力」

1. 概要

これまで「廃棄物管理」「都市上下水道管理」「都市大気汚染管理」「工場移転」及び「住民参加」のテーマで6回にわたり「北九州イニシアティブテーマ別セミナー」を開催してきた。今回は、「環境分野におけるローカルイニシアティブと国際協力」をテーマにしてセミナーを開催する。

これまで、JICA、JBIC 等国際機関による支援は、そのほとんどが中央政府を対象としたものであった。近年、地方自治体がこれら援助機関から直接に支援（協力）を受けることができるメニューができたが、まだ浸透はしていない。これは、地方自治体が援助機関から支援を得るための手法を熟知していないことや手続きの煩雑さなどが原因となっている。

本セミナーでは、これらの課題を解決するために、JICA、JBIC など国際援助機関が持つ、支援スキームなどについて認識を深め、またパネルディスカッションによる意見等の交換を行い、援助資金の効果的かつ効率的な調達方法などについて、提言をまとめる。その成果は、北九州イニシアティブネットワークを通じて、都市環境改善のための活動に役立てる。

2. 日時： 平成 16 年 7 月 2 日（金）13：00～17：00

3. 場所： 北九州国際会議場（2F、国際会議室）T802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-9-30

4. 参加者

自治体： 福岡市、北九州市、水俣市、大阪市、宇部市、横浜市、広島市

国際機関： 世界銀行、国際協力銀行、(独立行政法人) 国際協力機構、国際連合地域開発センター国際連合人間居住計画福岡事務所、国際連合環境計画、海外環境協力センター

5. 主催及び共催

主催： 国際連合・アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）

日本国・環境省

(財) 地球環境戦略研究機関（IGES）

共催： 北九州市

「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」

「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」とは、国際連合アジア・太平洋経済社会委員会の「第4回アジア・太平洋環境と開発に関する閣僚会議」（2000年9月、北九州市）で採択された、地域行動計画(2001-2005)の“環境の質と健康”分野で優先的に実施されるべき方策を提供するためのメカニズムである。北九州市のように公害克服・環境再生を成し遂げた経験を広く共有することによって、アジア・太平洋地域の主要都市における着実な環境改善を図るものである。総合的な都市計画、大気質改善、水質改善、廃棄物処理とごみ排出量減少、職員の能力形成を対象分野とし、地方レベルの環境管理能力強化を目的とした都市ネットワークの創設、参加都市への国の支援、学術団体との連携強化、既存イニシアティブとの協調等が提案されている。ネットワークの機能は、(i)包括的かつ持続可能な都市開発計画のプランニングや実施の支援、(ii)定量的指標を用いた実施状況のモニタリング、(iii)都市間の情報交換や経験共有の促進、(iv)技術、ノウハウ、成功モデル移転のためのプラットフォームの整備、(v)都市の自主的活動と資金援助との連携の強化、(vi)地方行政官の人材育成の促進、(vii)環境教育プログラムの促進、(viii)環境インフラ整備等における民間企業の参加の促進である。このメカニズムの有効性を確認するため、タイ、中国などの自治体でパイロット事業を実施している。

IGES 北九州事務所は、ESCAP および環境省の依頼を受けて北九州イニシアティブの運営を担当している。2001年11月、第1回ネットワーク会議を開催し、参加した13カ国20都市をコアメンバーとしてネットワークが発足した。自治体の能力を高めるため、2001年以降、「廃棄物管理」「都市上下水道管理」「都市大気汚染管理」「工場移転」及び「住民参加」のテーマで5回にわたり、テーマ別に小規模なセミナーを開催してきた。なお、成功事例やパイロット事業活動状況などはホームページ www.iges.or.jp/kitakyushu で公開している。現在、ネットワークメンバー都市は18カ国60都市になる。